

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 山王株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念を明文化し、経営者は、会社のあるべき姿を従業員に説明し共有していると共にHP上でも公開している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・就業規則があり、更新や改定があった際には回覧にて、法令遵守の重要性を全従業員に向けて発信している。 ・ゼロ災会議を月1回開催し情報共有している。是正・処置の発表の場ともしている。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社として公正な取引に努め、全従業員に向け、その重要性を発信している。 ・社長含め5名でのチェック体制が構築されている。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・副社長を担当者として定め、体制整備を行っている。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正・負の影響(可能性)を把握している。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、ネティス、熊本県への登録時に必要に応じて、知的財産に関する研修や勉強会を実施している。 ・特に自社製品の製造工程等について知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・資格証、保険証は総務で厳格に管理している。 ・個人情報については施錠ができるところに保管している。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事開始前に住民説明会(学校、団地)を行ない、対話に努めている。																	16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・取引先の活動に关心を持ち、対話に努めている。 ・揮発性有害物質を含まず、土壤汚染、地下水汚染、大気汚染に配慮した製品の製造、使用により、問題意識の共有に努めている。					5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・ゼロ災会議を基本として自然災害や事故等に備えている(2020年9月より月1回実施、現在も実施継続中) ・【予定】令和4年12月までにBCPを策定する。									9		11		13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組んでいる。								8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別やハラスメントに関する研修を実施し、部門長に相談できる体制を構築している。 ・外国人の通常採用を行っている。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・ゼロ災会議開催により、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。			3						8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・準社員・パート社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・2ヶ月毎に社内掲示板カレンダーにより計画を立て、計画的に有給取得を促進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・熊本県技術センターの講習会や、県災防主催の特別講習、技能講習を受講している(費用は会社負担)。 ・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。				4	5.5			8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・ゼロ災会議により交通事故等への注意喚起を行っている。 ・現場で毎日ラジオ体操を行い、健康増進への取組を促進している。 ・健康診断の経費補助を行っている。			3					8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・外国人雇用を行い、働きやすい環境整備を行っている。 ・83歳の従業員も在籍。各団体、企業からOBを雇用している。			4.4 5.1 5.5					8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・テレワーク(関東支社)、やWEB会議を導入するなど、新しい働き方に對する労務管理体制を整備している。 ・換気や消毒を徹底している。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・手続きやカタログ等の電子化を進めている。 ・社員へのPC配付等IT投資によりテレワークを推進している。 ・現場にはiPadを支給しており、クラウド使用によりペーパーレスに取り組んでいる。								8	9.1		11	12						
	21	【ブライ特企業】 ・ブライ特企業に認定されている。	●		・【予定】令和4年度のブライ特企業募集に申請する。			3	4				8	9		12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 山王株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・アスファルト舗装の補修には柑橘類果皮天然シラスオイル配合の人 に優しい・環境に優しい 常温・全天候型道路補修材(VOCゼロ環境対 応型)を使用し、有害物質を排出しない取り組みを行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に 取り組んでいる。	●		・【予定】令和4年10月までに簡易計算シート等を用いてエネルギー使 用量を算出する。 ・エコカー、ハイブリッド車、電気自動車の導入によりエネルギーの削減 に取り組んでいる。 ・貸与している車は全てエコカーとしている。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでい る。	●		・【予定】令和4年10月までに簡易計算シート等を用いてCO2排出量 を算出する。 ・太陽光パネル設置、エコカー、ハイブリッド車、電気自動車の導入によ り、CO2排出抑制に取り組んでいる。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう に配慮している。	●		・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性の 保全に努めている。 ・「石油系から植物系へ」をスローガンに、人体や環境に完全に無害な 常温合材を提供している。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュー ス)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・データ受信型のFAX導入等によるペーパーレス化、裏紙の利用を促 進している。 ・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて、生物多様性保 全に努めている。 ・産業廃棄物が削減できる工法を採用している。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・土壤汚染、地下水汚染、大気汚染をしない製品の製造、使用を通じて 熊本の水資源の保護に貢献している。		2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グ リーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・オレンジパッチを中心とした自然環境に配慮した製品開発を行ってい る。 ・産業廃棄物の削減できる工法を採用している。							9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●													11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可 能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・事務所を一部LED化する等、オフィスの節電に取り組んでいる。 ・電気自動車の導入を行っている。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを 推進している。	●						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚 染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車 などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・貸与している車は電気自動車を導入をしている。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組 んでいる。	●	●	・【予定】令和4年10月までに簡易計算シート等を用いてエネルギー使 用量を算出し、2050年CO2排出量実質ゼロを目指し、CO2の削減 に係る計画をたてる。					7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 山王株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1 人権と平和	2 持続可能な開発目標	3 経済成長と社会的公正	4 教育をみんなに	5 健康と福祉を	6 清潔な水とエネルギー	7 気候変動に対応	8 経済成長と社会的公正	9 経済成長と社会的公正	10 人権や環境を守る	11 経済成長と社会的公正	12 つづく力	13 経済成長と社会的公正	14 経済成長と社会的公正	15 経済成長と社会的公正	16 経済成長と社会的公正	17 パートナーシップで達成	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・現場で想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・現場ごとに安全会議を実施しており、安全性の向上に努めている。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・現場には手すり、防護柵の設置を行っている									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・オレンジパッチの原材料である碎石・砂については、県産原材料(山鹿市)の碎石、砂を優先的に利用し、地産地消を推進している。	2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●							7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・社用車にエコカー、ハイブリッド車、電気自動車を導入している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・商品の売上的一部分を熊本城の再建に寄付している。 ・人吉等、10市町村にふるさと納税を行っている。 ・県メンテナンス協会を通じたボランティア活動をおこなっている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、防災備蓄(軍手・ヘルメット)を常備している。 ・【予定】令和4年10月までに従業員にハザードマップを周知する。				4							11.5		13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	・防災関連の商品の販売をしている。(ビニールシート等)									9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・顧客や従業員に対し、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。 ・社内でSDGsに関する研修会を月に1回実施し、従業員にSDGsのディスカッションペーパー等の資料を使用し、知識を深めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学生(高校・専門学校)を積極的に雇用している。 ・地元の高校、専門学校、大学等へ就職斡旋の活動を行い、県内就職の促進を図っている。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。